第13号
平成16年１月13日

生涯学習の窓

富山大学生涯学習教育研究センターニュース

１．北陸三大学連携公開講座が開催されます。

本年度実施が予定されている「北陸三大学」連携の公開講座について紹介いたします。かつて、静岡大学・滋賀大学と連携した公開講座を実施したことがありますが、このたびは北陸地区の金沢大学・福井大学との共催で実施されます。この事業は、地域の多様な学習活動を支援するとともに、北陸地区の大学間連携の強化を図ることを目指して行なわれます。

実施形態は、三大学から2人づつ講師を他の二大学に派遣する形をとります。（したがって、富山には金沢大・福井大の講師2人が来県し講座を担当されます。）

富山地区では、平成16年２月29日(日)14:00～16:30、CiCビル３Fにて実施されます。講座は、「北陸発の自然」をテーマに掲げて開講されます。

講師、タイトルは以下のようになっています。

福井大学工学部 福原 輝幸 教授	未利用エネルギー技術を活用した 新しい冬期路面制御システム
金沢大学工学部 北浦　勝 教授	高齢社会における雪国の地震防災 について

なお、富山大学からは、教育学部 徳橋 曜 助教授(「ワインと歴史」)、教育学部 横山泰行 教授(「ドラえもんの世界」)がそれぞれ福井大・金沢大で講座を担当されます。

２．大学開放とＰＲ活動の拡大 ～開かれた大学をめざして～

平成16年度の公開講座の準備が進んでいます。現在、38件の公開講座を企画中です。
生涯学習教育研究センターでは、公開講座だけでなく、公開授業（オープン・クラス）等大学開放に関するＰＲ活動を行なっています。

（１） 公開講座受講者名簿に記載された方へのダイレクトメール
（２） 自治体その他の施設へのパンフレット配布
（３） 新聞記事・新聞折込広告（富山市を中心に70,000世帯）
（４） 市電ミニ講座（市内電車内に講座の概要を紹介）
（５） ホームページでの情報発信

大学開放にとって、ＰＲ活動は重要な意味を持ちます。より多くの受講生を獲得するという目標もありますが、何よりこのことは、市民の学習機会の充実という意義が重なっています。ご担当の先生方をはじめ、多くの方々にご協力いただきながら、充実したＰＲ活動を展開していきたいと考えています。

平成16年度実施予定公開講座	
方言辞典をつくってみよう	理学試食会ーどのような環境科学研究が
考古学から探る富山のルーツ	ものづくり体験講座（体験講座）
コンピュータで地図をつくろう（体験講座）	ＩＴ講座（１）Windows入門
宋代姦臣列伝ー近世中国の政治構造	ＩＴ講座（２）Word
アフリカ熱帯森林の生活と文化	ＩＴ講座（３）Excel
山歩きの楽しみ	ＩＴ講座（４）ポストカードを作ろう
日常の音と映像を読み解く	ＩＴ講座（５）プレゼンテーション資料を作ろう
富山湾における蜃気楼	ＩＴ講座（６）ホームページを作ろう
身体活動で育まれる思いやりの心	ドイツ語入門
ゴルフ(初級者）コース	フランス語初級
わかりやすいワインのはなし	フランス語中級
食文化から見たヨーロッパ中世	初級英会話
とやまの住まい、とやまの暮らし	中級英会話
陶芸（オブジェ制作＆テラコッタ頭像制作）	入門中国語１
現代の教育をどう見るか	入門中国語２
親子スキー教室	フレスコ画で表現する山里（利賀）の自然
情報化技術と適応問題を考える	楽しい卓球教室
高齢者のためのインターネット活用講座	「生涯学習」の時代を生きる
現代経営入門ー新時代のビジネス行動を考える	

3.親子フェスティバル　～今年度も大成功！～

主に本学教育学部の学生・教官によって開催される「親子フェスティバル」が11月23日(日)～24日(祝)にかけて開催されました。第5回を数えるこの事業も、きわめて盛況のうちに幕を閉じました。毎年多くの親子が参加するこの行事ですが、このたびの来客数はのべ6101人！驚くべき数字がはじきだされたものです。

フェスに参加した子どもたち、保護者の方たちの声をみると「お腹が痛かったけれど、楽しくてふっとんだ」「巨大迷路が日によって違って楽しい」(以上子ども)、「１日楽しく過ごせました。ありがとうございました」「それぞれの企画がとても楽しく工夫されてあり、学生のみなさんの努力に頭が下がりました」(以上保護者)。

本年度は、定番の人気企画「超巨大めいろ」「ちびっ子めいろ」をはじめ、新企画として「デジタルアスレチック忍者屋敷」など、13もの企画が開催されました。さらには、昨年度に引き続き富山医科薬科大学、高岡短期大学からの参加もあり、「三大学統合」のさきがけを思わせるような、充実した２日間になりました。





4.公民館の仕事場から

公民館は、市民の生涯学習の拠点として重要な意味を持っています。また、市民の高度な学習機会を提供する大学開放の事業と似たような性格を有するという意味では、今後とも連携を深める必要があります。今回は、総合科目特殊講義「地域と人間」をご担当いただいた、富山市総曲輪公民館社会教育指導員の市瀬美枝子さんにおたずねしました。



Q このたびは、授業をご担当いただきありがとうございました。学生さんの様子はどうでしたか。

A 学生さんたちは講義をよく聴いていただきました。最初退屈そうでしたが、紙細工の作業で盛り上がりました。理科系の学生なのに意外と難しがっているのが印象的でした。

Q 公民館のお仕事でやりがいのあることや、公民館で学んでいる人の様子について。

A やりがいを感じるのは、自分が企画したものが、「よかった」と喜んでくれるときです。来館者は年齢や性別によります。高齢の女性は「人生を楽しむ」人たちで積極的です。これに対し男性は少ない。上役に頭を下げるのが当たり前の生き方で、老後ややひきこもりがちな方が多い印象があります。なぜ女性が元気かというと、肩書きに縛られないからです。子育て、PTAの仕事をこなしていくうちに人づきあいがあり、誰とでもなじめます。

若い女性については、子育てをしながらビジネス英会話を学ぶ、という人たちがいます。意外なことと思われるでしょうが、彼女らは知的好奇心が高いです。子育てに十年かける、しかし自分の力を蓄えたい。個人でやるより、仲間と学習することで継続化します。TOEFLの試験をめざすとか。子どもを保育園・幼稚園にあずけ、10時から12時までみっちり学びます。人づきあいのメリットは、「幸せ感」が高いということですね。雑談をよくしますが、距離のあるつきあいができるんですね。今日、学生さんたちに特に言いたかったことは、人づきあいをすることですね。メールでなく、肉声での。

Q 大学と連携した事業についてはどうでしょう。

A 大学はあまりに専門的、学問的。実生活につなげる必要があります。学生さんたちと違って、彼らは面白くないと途中で帰ります。ビジネス英会話や心理学など、ターゲットをしぼり、内容が工夫される必要があります。コンサートを開くにしても、チラシを出すだけではダメ。最初に「こんな人たちに聴いてもらおう」というものをもって呼びかける。この仕事は、楽しいこと、まじめなことの両面があることが楽しいです。

「ポイントをしぼった取り組み」という点は、大学としても参考になるご意見でした。
お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

CiCビル３Fにて富山大学サテライト事業が始まりました

このたび、富山大学地域連携推進機構のサテライト事業がスタートいたしました。場所は、富山駅前CiCビル３Fの「とやま市民交流館」の一角を富山大学が借り受ける形で実現されました。

事業の内容は、サテライト公開講座、そしてサテライト相談事業です。これまで、交通の条件が良くないという理由で参加できなかった市民の皆様にとって朗報といえます。

12月６日(土)、開講のセレモニーと、二村文人先生(人文学部)の講座を皮切りに、本年度末まで開講されます。



5．会議報告

●運営委員会

◇第1回生涯学習教育研究センター運営委員会

開催日時：平成15年9月25日(木) 10時05分～11時08分

議　　題：(1) 平成14年度事業報告について
(2) 地域連携推進事業について
(3) 平成15年度事業計画について



●公開講座専門委員会

◇第1回生涯学習教育研究センター公開講座専門委員会

開催日時：平成15年10月30日(木) 10時37分～11時55分

議　　題：(1) 平成15年度公開講座実施状況について
(2) 平成15年度出張公開講座実施状況について
(3) 平成15年度公開授業実施状況について
(4) 平成16年度公開講座等の実施計画について

◇第２回生涯学習教育研究センター公開講座専門委員会

開催日時：平成15年12月9日(火) 15時30分～16時00分

議　　題：(1) 平成16年度公開講座等の実施計画について

●全国会議

◇第25回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会

開催日時：平成15年11月6日(木)～7日(金) 13時30分

開催場所：ホテル・シティオ静岡

協議事項：１．公開講座の体系化の試み
２．国立大学法人化と生涯学習系センター組織の在り方
３．パネルディスカッション：21世紀の生涯学習と大学開放

発行：富山大学生涯学習教育研究センター／〒930-8555富山市五福3190／TEL076-445-6956／FAX076-445-6960